山口情報芸術センター［YCAM］

やまぐちアートピクニック2024

2024年3月23日（土）～3月31日（日）
山口市大殿大路・一の坂川周辺７会場

まちとアートに出会う、春のまちなか展覧会！

山口情報芸術センター［YCAM］では、過去に「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞したアーティストの展覧会「やまぐちアートピクニック2024」を市内大殿大路・一の坂川周辺の7カ所で開催します。
2008年に創設された「やまぐち新進アーティスト大賞」は、活躍が期待される山口市のアーティストを支援するために山口市が主催する賞で、これまでに、数多くのアーティストが受賞してきました。
本展では、歴史的・文化的資源の豊富な地区にある店舗や文化財の一角に、受賞経験者９名の絵画やイラストレーション、インスタレーション作品などを展示します。このほかに参加アーティストの制作背景に触れられる、インタビュー映像を公開します。この土地で制作をおこなうアーティストの作品と言葉に触れながらまちを歩くことで、山口の文化の奥行きを感じられるでしょう。
桜の季節にアートとまちを楽しむ本展を通じて、まちの新しい魅力、そして山口らしいアートの新しいあり方を提案します。ぜひ、この機会にご参加ください。

「やまぐちアートピクニック」開催時の様子（2022年／撮影：塩見浩介）

参加アーティスト（五十音順）

臼杵万理実（第6回やまぐち新進アーティスト大賞）
コサカダイキ（第12回やまぐち新進アーティスト大賞）
佐伯和章（第3回やまぐちACS賞）
佐々木範子（第11回やまぐち新進アーティスト大賞）
鈴木啓二朗（第10回やまぐち新進アーティスト大賞）
平井槙（第5回やまぐち新進アーティスト大賞）
平川和明（第1回やまぐち新進アーティスト大賞）
松村憲治（第3回やまぐち新進アーティスト大賞）
山口功（第8回やまぐち新進アーティスト大賞）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

［お問い合わせ］
山口情報芸術センター［YCAM］学芸普及課
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7
TEL：083-901-2222　メールアドレス：press@ycam.jp　ウェブサイト：www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

新しい街の魅力そして、山口らしいアートの新しいあり方を提案

「やまぐちアートピクニック」開催時の様（2022年／撮影：塩見浩介）

YCAMはこれまで山口市の文化政策と協働しながら、YCAMが培ってきた知見やノウハウと地域資源を活用し、山口市独自の文化的価値を創造するためのさまざまな取り組みを行ってきました。
なかでも、国内外のアーティストとともにYCAMが制作／発表してきたインスタレーション作品を山口市内各所で公開する展示シリーズ「**Yamaguchi Seasonal（やまぐち・シーズナル）**」や山口市中心商店街の店舗を会場に開催する展覧会「商店がはじめて美術館になってみた」、「ART TEMPO RALLY」（アート・テンポ・ラリー）」（ともに2023年実施）など、街中の店舗や空きスペース、文化財等を会場とした作品展開を行うことで、芸術作品と景観の相互作用による地域の魅力の再発見につながる、新たな文化的価値の創出機会を生み出しています。
今回、開催する「やまぐちアートピクニック2024」は、こうした一連の取り組みを背景に生まれた展覧会です。

Yamaguchi Seasonal

坂本龍一＋YCAM《Forest Symphony》撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

YCAMでこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を山口市内各所で公開する展示シリーズ。
これまでに、山口市中心商店街の空き物件を展示空間として整備し、開催した大友良英＋青山泰知＋伊藤隆之《without records》や「雪舟庭」で 知られる常栄寺を会場とした坂本龍一+YCAM《Forest Symphony》など継続的に展開している。

街、作品、制作者の言葉からおりなされる文化の奥行き

「ART TEMPO RALLY」の参加者による
ギャラリーツアーの様子（2023年）

やまぐちアートピクニックは、「第12回 やまぐち新進アーティスト大賞」で選ばれた年代やバックグラウンド、表現手法の異なるアーティストのうち、９名のアーティストの作品を、山口の歴史と生活が感じられる街中で展開していく試みです。
開催２年目となる今回は、第１回(2008年）の受賞者の平川和明から、第12回（2022年）受賞者のコサカダイキまで、合計９名の受賞者による作品を山口市内大殿地区の店舗や文化財など合計７カ所で展示します。街の一角に展示された作品を鑑賞しながらまち歩きを楽しむことができると同時に、アーティストのインタビュー映像からは、作品とその制作の背景にある制作スタイルや素材、題材や技術との向き合い方について、理解を深めることができます。
また、本展では作品をより多面的に理解するための機会として、「**やまぐちアートコミュニケータープログラム**」の参加者による、作品を深く鑑賞するための「ギャラリーツアー」や作品にまつわる話をアーティストから直接聞く「アーティストトーク」といった関連イベントも実施します。
大殿大路・一の坂川周辺の街並みや歴史と、現代を生きるアーティストの作品とを結びつけながら、新しい街の魅力を発見する機会となるでしょう。

やまぐち新進アーティスト大賞

山口市が実施する「山口市芸術家支援事業」の一つとして2008年に設けられた賞で、将来の活躍が期待される山口市のアーティストに贈られる。山口市出身の教育者で画家の田口克己氏（1919年～2006年）からの寄付金を元に創設され、現在までに12回の開催を数える。

やまぐちアートコミュニケータープログラム

YCAM が 2021 年から実施する、アートや学びに関する人材育成プログラム。現在はプログラムを展開する山口市中心商店街を「アルスコーレ」と呼ばれる架空の学校に見立て、世代やバックグラウンドに関わりなく、仲間とともに学び合いながら「学校生活」を作っている。

開催概要

やまぐちアートピクニック

2024年3月23日（土）～3月31日（日）
※開館時間と休館日は会場ごとに異なります
入場無料

会場：
十朋亭維新館 萬代家主屋（山口市下竪小路112）※
古着屋313（山口市大殿大路114）
ファブラボやまぐち（山口市大殿大路133-1）
豆子郎　大内館店（山口市下竪小路52-2）
お茶の鴻雪園（山口市後河原163）
西村商店（山口県山口市後河原147）
クリエイティブ・スペース赤れんが（山口市中河原町5-12）※

※ マークのついた会場では、参加アーティストのインタビュー映像をご覧いただけます。

参加アーティスト（五十音順）：
臼杵万理実（第6回やまぐち新進アーティスト大賞）
コサカダイキ（第12回やまぐち新進アーティスト大賞）
佐伯和章（第3回やまぐちACS賞）
佐々木範子（第11 回やまぐち新進アーティスト大賞）
鈴木啓二朗（第10 回やまぐち新進アーティスト大賞）
平井槙（第5回やまぐち新進アーティスト大賞）
平川和明（第1回やまぐち新進アーティスト大賞）
松村憲治（第3回やまぐち新進アーティスト大賞）
山口功（第8回やまぐち新進アーティスト大賞）

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会　技術協力：YCAM　InterLab
企画制作：山口情報芸術センター［YCAM］、Twelve Inc.

関連イベント

アーティストトーク
2024年3月23日（土）14:00～16:00
会場：十朋亭維新館 萬代家主屋
定員：15名　参加無料　※要申込

ギャラリーツアー
2024年3月24日（日）、31日（日）
各回14:00～15:00
集合場所：十朋亭維新館 萬代家主屋（山口市下竪小路112）
定員：5名　参加無料　※要申込

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト：
www.ycam.jp

臼杵万理実（うすき・まりみ）

山口市を拠点に不思議な少女や動物たちの絵画や立体作品を制作している。第6回やまぐち新進アーティスト大賞受賞。展覧会やイベントにて作品を発表。また、創造することの楽しさをたくさん経験してもらいたいという思いから「ひろまり絵画教室」を開き講師をしている。

コサカダイキ

山口県出身・在住。南陽工業高校を卒業後、マツダ(株）に就職。入社5年目にして乗り物が好きで描き始めたイラストを中心にイラストレーターとして2018年の夏に22歳で独立をする。現在は主に個人様からのイラストレーションオーダー、広告、雑誌、等のイラストを手がける。乗り物イラストを得意とし、水彩で暖かく優しい、デジタルでかっこいいを提供している。第12回やまぐち新進アーティスト大賞受賞。

佐伯和章（さえき・かずあき）

1974年　山口市生まれ
1993年　山口県立西京高校卒業
1997年　九州産業大学芸術学部デザイン科クラフコース卒業
2003年　彫金作家として山口県内を中心に活動開始
2006年　KO silver（中河原町）開設
2009年　KO SILVER（駅通り）移転
2011年　やまぐちACS賞を受賞。
2019年～2022年　山口芸術短期大学非常勤講師
現在、山口市駅通りに設けたアクセサリーの制作スタジオ兼ショップ、KO SILVERを拠点に作品制作、山口県内や近県での展示会やワークショップなど活動中。

佐々木範子（ささき・のりこ）

1972年周南市生まれ 山口市在住。1995年金沢美術工芸大学卒業。2020年山口県美術展覧会佳作。2021年やまぐち新進アーティスト大賞受賞。 2022年～山口芸術短期大学非常勤講師。個展/2021『草木花ひかる』山口井筒屋/2022『ささやき』C.S赤れんが/2023『風ひかる』ギャラリーナカノ。植物や人などとふれあう日々の暮らしで感じ思い願うことを描く。クコノッコ（工作ユニット）、吉敷美術部運営中。

鈴木啓二朗（すずき・けいじろう）

現代美術作家／文化事業者
1981年愛知県名古屋市生まれ、山口市在住。
地域社会や国際社会を俯瞰し多様なリサーチやプロデュース手法を用い、作品制作・対話・プレゼンテーションなどを通じてアートの活用方法を掘り下げ、人生観・価値観・アートの有用性を探求する機会を創出し、新たな気づきや価値観の転換などを探っている。山口市ではやまぐち街なか大学にて「こどもとアート」講座を企画運営。近年では山口情報芸術センター［YCAM］主催の「あそべる図書館ーSpeculative Library」にてプログラム・デザイナーを担当。また、山口現代芸術研究所（YICA）のメンバーとして地域の病院にてホスピタル・アートの設置に携わる。

平川和明（ひらかわ・かずあき）

福岡県出身。2002年より2年間、フィンランドのヘイノラ・インスティテュートで家具づくりの知識と技術、デザインを学ぶ。帰国後、山口県立大学大学院に通いながら岡崎木材工業（株）に勤務し、在学中の2005年にデザインから制作まで一貫した家具制作をおこなうオーダメイドの家具工房を設立。個人住宅、店舗、公共施設等を中心に家具制作活動をおこない、2017年より山口大学教育学部美術教育選修講師に着任。現在山口市の大内地区に工房を構えている。

平井槙（ひらい・まき）

1988年、山口県生まれ。山口市在住。2011年に京都精華大学芸術学部素材表現学科テキスタイルコースを卒業。粘土や樹脂、布や金属など複数の素材を合わせながら、立体造形をメインに製作。
今回「やまぐちアートピクニック2024」で発表予定の人形のシリーズは初展示になる。

松村憲治（まつむら・けんじ）

1974年、防府市出身。家業が創業200年の鋳造業の家系に生まれ、金属は得意な材料の一つです。
鋳込み時に出る副産物「湯こぼれ」を使用した作品（受賞作品も含む）のようなアップサイクルアート作品から機能性も兼ね合わせたオブジェ家具などの制作を行ってきました。
現在は、建築設計事務所を運営しながらアーティスティックかつ、機能性を重視した建築や空間デザインに金属を取り入れることで唯一無二の空間づくりに励んでいます。

山口 功（やまぐち・いさお）

2012年　東京藝術大学（油画）博士課程修了（美術博士）
2016年　第8回やまぐち新進アーティスト大賞受賞
「いかに自分を守り、いかに他人とつながるか」をコンセプトにした作品を制作し、個展やグループ展、インターネットで発表している。現在、山口市を拠点として芸術活動と英語教材の開発を行なっている。